

サイバーリスクに備える 各種サービスのご案内

近年、ウイルスやハッキングによるサイバー攻撃により電子データの損壊や情報漏えいに関する被害、システム・ネットワークの不具合による経済的被害は拡大しており、企業様においては情報システム・ネットワークに関するリスクマネジメントの重要性がますます高まっているものと思われまます。

損保ジャパン日本興亜では、「サイバー保険」「個人情報取扱事業者保険」等の各種損害保険商品に加え、様々な各種サービスをご提供させていただいておりますので、ご紹介します。

サイバーリスク簡易診断サービス **無料!**

サイバー攻撃対策として考慮すべき組織的、人的、物理的、技術的な措置を中心に、

- ①サイバーリスクへの対応状況を診断!!
- ②近年のサイバー攻撃による事故例などの「参考情報」を提示!!

企業リスクの一つであるサイバーリスクに対して、どこから、どのように取り組むか、どの程度まで対策を実施すべきかなどの対応計画を策定する際に参考となる対策例や事故例を提示します!!

<診断項目例>

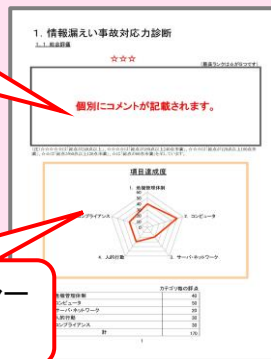
- ・自社で保護すべき重要な情報や情報システムを網羅的に特定し、その内容について更新および定期的な見直しを行っていますか。
- ・情報漏えいまたはそのおそれ、システム障害等のインシデントが発生した場合の対応フローを定めていますか。
- ・特定個人情報等について具体的な取扱いを定めた取扱規程等を策定していますか。

情報漏えい事故対応力診断サービス **無料!**

- ①情報漏えい時の対応として求められる事項を中心に、現状の取組状況を診断!
- ②情報漏えい時の対応において現在どのような課題があるのかを認識し、今後の緊急時における態勢を整備・改善する際のひとつの指標としてご活用可能!

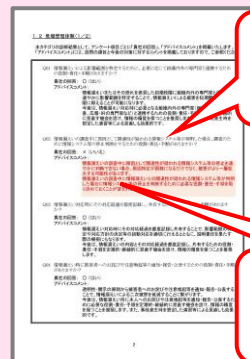
※本診断サービスは、株式会社ラックおよびAOSリーガルテック株式会社と共同開発しました。

情報漏えい事故
への対応状況を
総括的に評価!



取組状況をレーダーチャートで「見える化」!

今後の対応力向上に向けたポイント
を提示!



優先的に取り組むべき内容を「見える化」!

緊急時サポート総合サービス **無料!**

万が一、サイバー攻撃などによる情報漏えいによって、当該事故の公表や本人への謝罪等の対応をしなければならない緊急時に、ワンストップかつ総合的にサポートします。

「サイバー保険」「個人情報取扱事業者保険」「商賠繁盛(IT事業者用)」に加入すると、情報漏えいまたはそのおそれが生じたことを知った場合に必要な各種機能を備えた「緊急時サポート総合サービス」がご利用いただけます。

なお、サービス料金のご契約の範囲内で支払保険金から充当されます。

調査・応急対応支援機能

- 原因究明・影響範囲調査支援
 - 被害拡大防止支援
- など

緊急時広報支援機能

- 謝罪、報告、対外公表文書チェック・アドバイス
 - 緊急記者会見実施支援
- など

コールセンター支援機能

- コールセンター立ち上げ
 - コールセンター運用
 - コールセンターのクロージング支援
- など

信頼回復支援機能

- 再発防止策の評価に関する証明書を発行
- など

ISO27001 は2005年10月に発行された、情報セキュリティマネジメントシステムに関する国際規格です。情報セキュリティレベルの向上を目的として、自社のリスクを考慮しつつ、より効果的に情報資産を管理するための規格となっています。

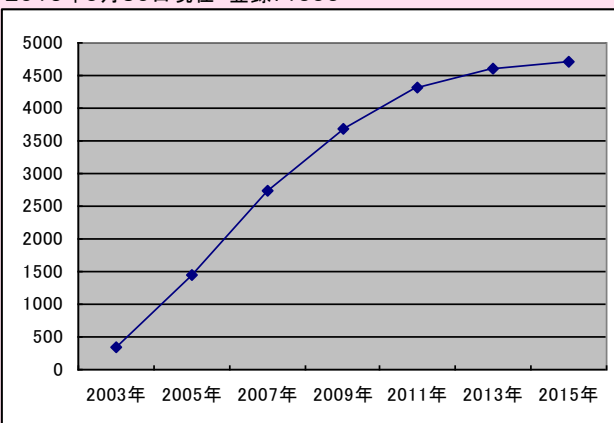
企業のIT化が進み、「保有する情報資産を有効に活用すること」がひとつのキーワードとなっている現在において、情報セキュリティへの企業姿勢を示す一つの方法として有効です。

<認証取得によるメリット>

ステータスシンボル確立 —企業姿勢をPR—	情報資産管理を重視した経営に与えられるグローバル・スタンダードであり、取引先・消費者などステークホルダーから認知を得られるステータス・シンボルです。
経営パフォーマンスと従業員モラルの向上	第三者(外部)審査により経営マネジメントと従業員モラルの向上が望めます。さらにセキュリティ対策のハード面・職場環境の整備により企業のイメージアップにもつながります。
法規制に対応	客観的で厳格な「第三者(外部)審査」により、漏れのない万全な対策が可能になります。
法人マーケット —取引先拡大—	今後、取引先や発注先の選定の際に「ISO27001」取得を基準に考慮する企業・地方自治体あることからISO27001 認証取得によって取引拡大が期待できます

<ISMS認証取得組織数推移>

2015年9月30日現在 登録:4699



(出典)情報マネジメントシステム推進センターHPより抜粋

情報セキュリティ事故に係る教育・訓練コンサルティング

従業者様ヘルールの浸透・定着を目指した研修資料の作成や実施とともに、内部監査員の養成研修など、様々なご要望にあわせた教育実施をご支援します。

内容	研修名	対象	時間	概要
1 座学	マイナンバー制度とは	一般従業員・全社員	1時間程度	ねらい: マイナンバー制度施行により、企業にはどのような影響があるのかを紹介する。 概要: マイナンバー制度に準拠した取り組みを実施するにあたり、企業には何が求められているか、どのようにして組織体制の中に組み込むべきかについて示す。
2 座学	業務と情報セキュリティ対策	一般従業員・全社員	1時間程度	ねらい: 業務遂行と情報セキュリティ対策には密接な関わりがあることに気づく。 概要: 出社から退社までの業務活動の中で実施すべきセキュリティ対策を紹介し、安全な業務遂行には様々な対策が関係することを示す。
3 座学	SNS事故防止	一般従業員・全社員	30分程度	ねらい: SNSの書き込みによる事故事例を紹介し、実施すべき対策を理解する。 概要: SNSの発達により増加しつつあるSNSによるセキュリティ事故を紹介し、事故発生の仕組みや企業に求められる対策を紹介する。
4 座学	ヒューマンエラーと漏洩事故	一般従業員・全社員	1時間程度	ねらい: 情報漏洩事故原因にはヒューマンエラーが関係していることに気づく。 概要: 様々な意図しない情報漏洩事故原因のトップがヒューマンエラーに起因することを紹介し、ヒューマンエラーを体感しつつエラー防止に向けた対策を紹介する。
5 座学	対策実施の必要性	一般従業員・全社員	1時間程度	ねらい: 情報セキュリティ活動及びリスク対策実施の根拠について理解する。 概要: 情報セキュリティで定められているPDCAサイクルやリスク対策の実施がなぜ必要かについて、根拠やメリットについて紹介する。
6 座学	5Sに基づく情報管理	管理職・経営層	1時間程度	ねらい: 5Sを活用した情報管理手法を紹介し、効果的な対策には5Sが必要なことに気づく。 概要: 様々な情報セキュリティ対策を実施しても適切な運用が出来なければ事故が発生する。そこで、対策実施以前に整理・整頓といった基本的な情報管理が必要であることを示す。
7 ワークショップ	情報セキュリティ実践	一般従業員・全社員	1時間程度	ねらい: リスクアセスメントを体感し、リスク感度を向上させる。 概要: シナリオや写真などに現れる問題行動に対して、どのようなリスクが隠れており、どのような対策を実施すべきかをグループで検討し、リスクアセスメントを体感する。

- このちらしに記載の各種サービスはSOMPOリスクマネジメント(株)が提供するサービスです。
- このちらしは概要を説明したものです。詳しい内容につきましては取扱代理店または損保ジャパン日本興亜までお問い合わせください。
- ご契約者以外に対象となる方(被保険者)がいらっしゃる場合は、その方にもこのちらしに記載した内容をお伝えください。

【引受保険会社】

お問い合わせ先



〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL. 03-3349-3111
<公式ウェブサイト> <http://www.sjnk.co.jp/>